

緑の風 FAX版



NO. 91 2019年 3月5日 JR東労組

J R 東労組ホームページ

東日本大震災の教訓を 決して忘れてはいけな！

自然災害遭う恐れ77%

世論調査 15%上昇、危機感増す

気象や災害、防災に関する情報の入手先 (へつまで回答)

テレビ	85.5%
新聞	33.6%
ツイッターやLINEなどのSNS	22.8%
報道機関のホームページやアプリ	14.7%
ラジオ	12.6%
民間気象会社のホームページやアプリ	9.6%
気象庁など国や地元自治体のホームページ	5.8%
防災無線	4.5%

自然災害に遭う恐れを感じているか

全く感じていない	2.9%
分らない無回答	0.6%
あまり感じていない	20.0%
大いに感じている	28.5%
ある程度感じている	48.0%
76.5%	

東日本大震災8年

東日本大震災の被災地の復興は「順調」「どちらかといえば順調」が計48%、「どちらかといえば順調とは思わない」と「順調とは思わない」が計49%で拮抗。国の被災地支援の取り組みは「大いに評価」と「ある程度評価」が計65%だった。

被災地や東京電力福島第一原発の廃炉作業、避難区域の現状について「関心は高いままだ」「関心は高くなった」と答えた人は計67%だった。

政府が原発の再稼働を進める中、福島第一原発事故のような深刻な事故が再び起る可能性については86%が「心配が残る」と回答。再稼働した原発で事故が起きた場合「安全な場所までスムーズに避難できる」とはあまり思えない」と「できると思えない」が計68%だった。今後の原発については「段階的に減らし、将来はゼロ」が63%に達した。

防災に関する質問では「災害想定地区(ハザードマップ)を確認したことがある人が61%、自然災害に直面した際、どう行動するのかわからない人は56%に上った。

【注】小数点一位を四捨五入した。

3月3日 東京新聞

世論調査で、**77%**の方が「**自然災害に遭う恐れを感じている**」と答えています。

この結果は、**いつでもで災害が発生するか分からないことへの不安**であると読み取れます。

東日本大震災の教訓は「**マニュアルを超えて判断し、命を守り抜いたこと**」であり、**私たちは常に感性・感覚・判断力を養う必要**があります！！

経験を積み重ね、自然の変化に反応・対応できる力を防災士の仲間と共に身につけましょう！！